

土木学会土木計画学研究委員会幹事会(2005/06/03 広島)
リスクマネジメント研究小委員会 活動報告及び今年度活動方針

0. 趣旨

土木計画学研究委員会内には過去には災害リスク研究小委員会が組織され、一応の研究成果が蓄積されてシンポジウムや専門書の刊行を通して広く情報発信も行われてきた。その後、災害リスク研究の必要性/重要性は一層高まってきている一方で、土木計画に関わるリスク事象は災害だけでなく環境、技術、ファイナンス、あるいは制度などほとんど全ての面で広く認識されるようになってきた。リスク事象全般に目を向けて、そのコントロールとファイナンスの技術について根本的な議論を行うべき時期を迎えている。本小委員会は、リスクマネジメントに興味を持って積極的に研究に取り組む研究者が積極的に研究活動を展開する場として立ち上げ、相互に情報交換を行うとともに成果を情報発信していくことを意図している。特に以下の点に焦点を当てることを意図している。

- ①長期的視野でのリスクとそのマネジメント
- ②空間的特性を有するリスクとそのマネジメント
- ③リスクマネジメントとしての制度・契約設計

1. 組織構成

委員長	小林潔司(京都大学)	
幹事	上田孝行(東京工業大学)	
コアメンバー	赤松隆(東北大学)	多々納裕一(京都大学)
	林山泰久(東北大学)	高木朗義(岐阜大学)
	竹林幹雄(神戸大学)	松島格也(京都大学)
	福本潤也(東京大学)	横松宗太(鳥取大学)
	長江剛志(神戸大学)	織田澤利守(京都大学)
	大西正光(京都大学)[幹事補佐]	土屋哲(京都大学)
	羽鳥剛史(京都大学)	

2. 秋大会以降の活動内容

下記に示す日程で第1回の小委員会を開催し、リスクマネジメント小委員会の立ち上げを行った。第1回は、これからの活動方針を定めるために、コアメンバーが取り組むリスクマネジメントにかかわる研究を各自報告した。現時点での、コアメンバーの関心を考慮すれば、準備会での当面の研究活動方針として

- ①長期的視野でのリスクとそのマネジメント
- ②空間的特性を有するリスクとそのマネジメント

③リスクマネジメントとしての制度・契約設計
といったテーマに取り組むことを確認した。

[これまでの委員会]

第1回 平成17年4月28日(木) 13:00~18:00

於: 京都大学工学部5号館

3. 今年度の活動計画

今後、土木計画学研究発表会春大会でのスペシャルセッション等を通じて研究小委員会の本格的な立ち上げ体制を確立する。研究小委員会の参加者として、幅広く研究者の参加を募ると同時に、保険業界、証券業界、エンジニアリング業界、法曹界等も含めた広範囲の業界から参加を募集する予定である。また、今後ドクターに進学予定の修士の学生にも積極的に参加を募る。人数に制限を設けないこととする。

研究活動予算としては、現時点では科学研究費補助金等、外部資金の調達に期待せざるを得ないが、研究テーマの重要性が非常に認識されつつある分野であり、ワンデーセミナー、シンポジウムの開催に関しては財務的に十分に成立可能であると考ええる。

4. ワンデーセミナーなどの開催予定

- ・土木計画学研究発表会・春大会(6月4, 5日)スペシャルセッション
「リスクマネジメント研究の課題と展望」

リスクマネジメントの土木計画学的重要性

金融工学的アイデアの空間・交通計画への応用性

リスク下の多段階最適化としてみた土木事業のとらえ方

土木計画と地震工学のインターフェースー耐震設計基準を例としてー
制度設計問題におけるリスクの表現について

- ・ワンデーセミナーへの協力(防災計画研究小委員会との協力)
「防災の経済分析ーリスクマネジメントの施策と評価」(6月29, 30日)

以上